

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	医療法人緑生会		
介護事業所名	介護老人保健施設チエルシー		
介護保険事業所番号	2550180075	サービス種別	介護老人保健施設
所在地	大津市大石淀3丁目8-23		
利用定員	29人	介護ロボットの種別	移乗介護(装着型)
介護ロボットの製品名	HAL 腰タイプ BB04		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有・無		
導入時期	令和3年2月	導入台(セット)数	1台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】 ※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。 シーツ交換、おむつ交換、トイレ2人介助の方の抱え上げ時での使用検討中			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】 ※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。 職員の高齢化と腰痛という課題に介護ロボットの導入は効果が大きいと期待している。まだ、導入したばかりで効果が表れるところまではいかないが、日常的にもっと頻繁に使えるように慣れてくると、職員の腰痛に対しても効果が表れるのではないかと。また、高齢化しているスタッフも少しでも長く働くことができるのではないかと。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】 ※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。 導入して日数が浅い為、まだ、全職員に使用方法が伝達していない状態であり、装着にも時間がかかる。本体自体の重量もかさもあるため、軽量化・小型化していればもっと実用性が高いと思われる。			

※「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	医療法人緑生会		
介護事業所名	グループホームクリーム		
介護保険事業所番号	2510101575	サービス種別	認知症対応型共同生活介護
所在地	大津市大石淀3丁目2-2		
利用定員	18人	介護ロボットの種別	移乗介護(装着型)
介護ロボットの製品名	HAL 腰タイプ BB04		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有・無		
導入時期	令和3年2月	導入台(セット)数	1台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
入床時、起床時のベッド、車いす間の移乗動作の介助を行うとき。入浴時のシャワーチェア、車いす間の移乗動作・全介助の方のベッド上での体位変換、定位置の移動、排泄、更衣等、荷重がかかる作業時の活用を施行中。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
職員18人中18人が程度の加減はあるが、腰痛を生じている。現在使い始めたところなので、腰痛改善に至るまでではない。ロボットを使うことにより、介助者自身の身体的、特に腰への負担が軽減できそうであるところが職員達に理解されているところである。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
ロボット装着が簡単ではないので業務の中で日常使いが困難である。まだ、慣れていない為もあるので、重さに負担が生じる場面での使用を増やして、介護を行わなければならないと考える。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和 2 年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	医療法人緑生会		
介護事業所名	グループホームクリーム鹿跳		
介護保険事業所番号	2590100265	サービス種別	認知症対応型共同生活介護
所在地	大津市大石東6丁目1-11		
利用定員	18人	介護ロボットの種別	移乗介護(装着型)
介護ロボットの製品名	HAL 腰タイプ BB04		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	1台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
近年、利用者の重度化が進み、全介助の利用者が増えてきている。現状で移乗やトイレ介助、入浴介助と、利用者様を抱えたり、支えることが必要と感じる介助に対し、あらかじめ装着し、腰への負担軽減のため使用中である。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
介護する側も高齢化が進んでいる現状で、全介助の利用者様が増えている中での腰への負担軽減は精神的な負担軽減にも繋がり、以前よりも負担は少なくなった。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
相手が人である以上、動きが予測できないので、急な使用に対応しにくいことが難点である。また、使用方法も少し複雑であり、手順を覚えるのが少し困難である。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	医療法人緑生会		
介護事業所名	グループホームクリーム膳所		
介護保険事業所番号	2590100109	サービス種別	認知症対応型共同生活介護
所在地	大津市西の庄12番21号		
利用定員	18人	介護ロボットの種別	移乗介護(装着型)
介護ロボットの製品名	HAL 腰タイプ BB04		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	1台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】 ※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。 介護度が上がってきている利用者様の車いすやベッドの移乗、入浴での介助など。腰痛予防・軽減のために必要です。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】 ※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。 中腰、遠いところへ腕を伸ばすなどの行為に効果的である。腰をぐっと引っ張ってくれているのを実感する。装着方法等、まだ全員に知らせていないのでその点もクリアしていく必要あり。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】 ※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。 尿意を催された時など、直ぐに装着・行動することにまだ不慣れです。装着したままでは自身の移動が重いのではと感じる。HALを生かせる普段の介護の動きや場面がわからない。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	医療法人緑生会		
介護事業所名	小規模多機能型居宅介護グリーングラス		
介護保険事業所番号	2590100265	サービス種別	小規模多機能型居宅介護
所在地	大津市大石東6丁目1-11		
利用定員	24人	介護ロボットの種別	移乗介護(装着型)
介護ロボットの製品名	HAL 腰タイプ BB04		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	1台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】 ※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。 近年、利用者の重度化が進み、全介助の利用者が増えてきている。現状で移乗やトイレ介助、入浴介助と、利用者様を抱えたり、支えることが必要と感じる介助に対し、あらかじめ装着し、腰への負担軽減のため使用中である。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】 ※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。 介護する側も高齢化が進んでいる現状で、全介助の利用者様が増えている中での腰への負担軽減は精神的な負担軽減にも繋がり、以前よりも負担は少なくなった。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】 ※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。 相手が人である以上、動きが予測できないので、急な使用に対応しにくいことが難点である。また、使用方法も少し複雑であり、手順を覚えるのが少し困難である。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	医療法人緑生会		
介護事業所名	小規模多機能型居宅介護グリーンガラス富士		
介護保険事業所番号	2590100323	サービス種別	小規模多機能型居宅介護
所在地	大津市秋葉台13番5号		
利用定員	24人	介護ロボットの種別	移乗介護(装着型)
介護ロボットの製品名	HAL 腰タイプ BB04		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	1台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
活用プランを作成し、入浴介助時及び夜間の排泄介助巡回時に使用していくこととし、使用を開始している。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
安全使用講習への全スタッフの受講が終了。入浴介助時の使用を開始したところであり、現在5名のスタッフが使用実績あり			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
導入して日数が浅い為、装着・使用に不慣れなスタッフもあり、都度複数のスタッフで操作方法等について確認を行っている。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	医療法人緑生会		
介護事業所名	デイサービスたんぽぽ		
介護保険事業所番号	2570100467	サービス種別	通所介護
所在地	大津市大石東6丁目1-11		
利用定員	20人	介護ロボットの種別	移乗介護(装着型)
介護ロボットの製品名	HAL 腰タイプ BB04		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	1台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】 ※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。 近年、利用者の重度化が進み、全介助の利用者が増えてきている。現状で移乗やトイレ介助、入浴介助と、利用者様を抱えたり、支えることが必要と感じる介助に対し、あらかじめ装着し、腰への負担軽減のため使用中である。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】 ※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。 導入して日が浅いのでまずはスタッフ全員が操作を覚える。他部門のスタッフとの情報の共有を図り、効果的な活用を図る。スタッフが今後高齢化していくことを踏まえ、リタイアしなくてもよい動きやすい現場環境を目指す。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】 ※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。 装着に時間がかかるため、スタッフ全員が装置操作を覚える。スタッフ全員が程度の差はあれ腰痛であるが、装置を使うことにより、全員が同じように介助を行うようにする。装着に時間がかかるため、導入して日が浅いので常に使用するところまでには至っていないが、スタッフ全員が少しでも長く働けるよう、装着になれる。			

※「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 野洲慈恵会		
介護事業所名	特別養護老人ホームぎおうの里		
介護保険事業所番号	2571300199	サービス種別	地域密着型介護老人福祉施設
所在地	滋賀県野洲市富波甲1340番地1		
利用定員	20人	介護ロボットの種別	移乗介助(非装着型)
介護ロボットの製品名	移乗サポートロボット ハグ		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有・無		
導入時期	令和3年1月	導入台(セット)数	1台
リース・レンタルの場合の契約期間	—令和—年—月—日から令和—年—月—日まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。 導入後3ヶ月。 全職員が取り扱い説明を受け、利用体験を行った。 使用対象としていた利用者については、下肢筋力の低下により常時使用することが難しくなり、走行式リフトの使用に切り替えた。現在、新たに3名の利用者について試行を開始した。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。 試行的な段階であり機器導入そのものの具体的な効果は未だ得られていない。 今回の導入にあわせて、滋賀県福祉用具センター主催の「抱えあげない介護」実践のための研修を主要な職員が受講。令和3年度より事業所としてノーリフトケア推進を宣言して介護実践を行っていくこととし、ノーリフトケア推進会議をはじめとする組織体制を構築した。また、令和2年12月に腰痛発生リスクや作業環境について職員アンケート調査により現状把握を実施。事業所の労働安全委員会などを中心に、職員の腰痛対策等を進めている。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。 今回導入した機器についてはADLやその日の体調、意欲等により、常にその利用者に適しているとは限らないため、丁寧にアセスメントを行って運用する必要がある。個別アセスメントを含め、抱えあげない介護を推進していくため、ノーリフトケア推進会議を定例開催することとした。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人恩賜財団済生会支部滋賀県済生会		
介護事業所名	介護老人保健施設ケアポート栗東		
介護保険事業所番号	2551280015	サービス種別	介護老人保健施設
所在地	滋賀県栗東市大橋二丁目8番2号		
利用定員	100人	介護ロボットの種別	移乗支援
介護ロボットの製品名	移乗サポートロボット ハグ		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	○ 有 ・ 無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	2台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。 立ち上がりや立位保持が困難な利用者の排泄や入浴場面などの移乗の際に使用している。 コンパクトなボディで狭い居室やトイレなど場所を選ばず使用でき、操作も簡単で職員も日々の介護に使用している。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。 利用者の方々からは、安心して使用できると評判で自宅でも使用したいとの声もある。 簡単な操作とシンプルな手順で使用でき、安心・安全な移乗が可能となり介護を受ける利用者、介護を行う職員の双方に優しい機器となっている。 また、操作時や動作の選択に迷うことがないため業務効率がアップし、介助者が利用者を持ち上げる負担も少ないため、腰や腕にかかる負担が軽減された。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。 ・気管切開のある利用者には、喉元がクッション部に当たるため使用ができなかった。 ・利用者の身体に合わせた高さ調整や膝当てクッションの位置調整が難しい。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会		
介護事業所名	リハビリデイサービス湖北		
介護保険事業所番号	2570300968	サービス種別	通所介護
所在地	滋賀県長浜市湖北町速水1860		
利用定員	35人	介護ロボットの種別	移乗介護(非装着型)
介護ロボットの製品名	移乗サポートロボット Hug L1		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有 無		
導入時期	令和3年 3月	導入台(セット)数	1台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
・はじめに法人全体の介護事業所(通所、訪問)の管理者会議で機器の紹介と使用方法のデモンストレーションを行った。介護する側とされる側を、お互いに体験することによって使用のイメージの共有化を図った。			
・次に導入事業所において、まず管理者から職員へ使用方法を説明し、上記と同様に実際に体験をすることによって機器の特徴や使用方法を学ぶ機会を持った。併せて、どのような場面での使用が考えられるか、検討会議を開き、特定の利用者様の介助時に使用を開始することを決定した。当面は使用する場面を限定し、使用方法を学んだ職員が行うこととした。			
・実際の使用にあたっては、あらかじめ利用者様へ説明し、承諾を得た上で先の検討会議で決定した方法を用いている。			
・実際に使用開始して1か月程度であり、少数ではあるが2人での抱え上げの移乗介助が必要であった利用者様に対して一人での介助が可能となったケースもあり、徐々に使用場面、利用者様を増やしているところである。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
・導入時の目標である職員への使用方法の周知に関しては、使用する全ての職員に対して、実際に自分が体験することから、現場で使用することまで実施することができた。使用方法の検討会を開くこともできたが、限定的であり、きちんとした研修会は実施できていない。			
・当初の目的としていたケアマネさんへの広報活動はコロナ禍の影響もあり、実際に見てもらうことはできていない。現状、使用している利用者様の担当ケアマネには個別に口頭で紹介はできているが、広報誌やお便りでのお知らせも予定はしているが実施できていない。			
・現場で使用した職員の一人からは、移乗介助時の自身への身体への負担がほとんどなくなったため、今後、腰痛が減るのではないかと意見は上がったが、まだ使用する機会も限定的であり、全体としての実感はほとんど得られていない。			
・現時点では導入開始したばかりで評価できる事実はほとんどないが、導入自体はスムーズに行えたといえる。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
・高齢のパート職員の中に、機器を使用すること自体への拒否感が強い者がいるが、そのような職員の身体的負担を取り除くことが最終目標のひとつであるため、来月には専門家(業者)による研修会を実施し、個人の不安感などを取り除く機会を持ち、積極的な使用につなげていく。			
・体格の良い利用者ほど、介護負担が大きいため使用したいが、あまりにも大きな方に使用するには機器が華奢なため心配で使用できていない。上記の研修会で確認し、可能であれば使用したい。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。